

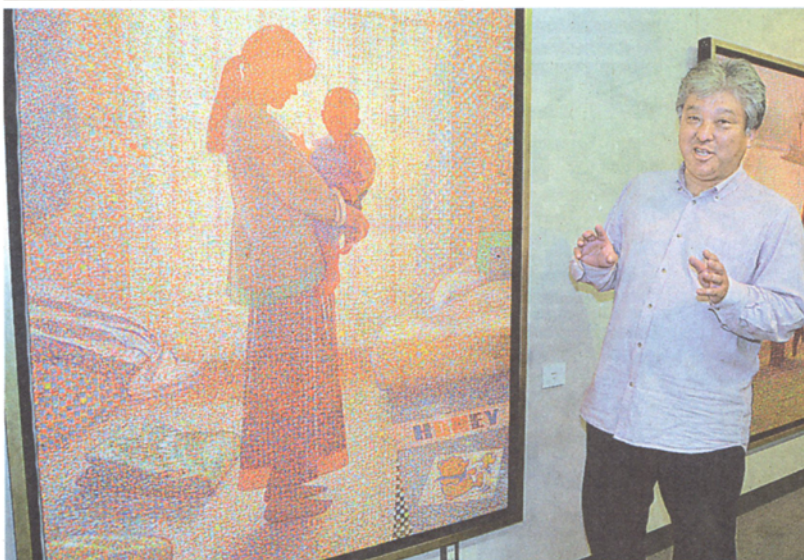
油絵 30点展示 熊本市

家族の絆、復興祈願表現

熊本地震被災 熊谷・崇城大教授

母親、手をつないで歩くき
ようだい…。オレンジ、赤、
黄など暖色を基調とした無
数の点で描く画風で、自身
の家族をモデルに「家族の
絆」を表現した。熊谷さん
は「子育てに悩む保護者が
絵の人物と自分を重ねること
で、少しでも救いを感じて
もらえたらうれしい」と

最新作「Rise again —
the sun also rises
(日はまた昇る)」は、熊
本地震発生直後に大津町の
道路脇から昇る太陽を描写
した。被災した自宅の片付
けに追われ、創作活動もま
まならず気落ちした時期を
経験したという熊谷さん。



自身の妻子をモデルに描いた作品の前で「母と子の普遍的な世界を表現したかった」と解説する熊谷有展さん

自分を奮い立たせようと、
キャンパスに向かったとい
う。
1時半からの2回、熊谷さ
んが展示作品を解説するイ
ベントもある。崇城大ギヤ
ラリー11096(323)

入場無料。28日まで。15
日午前10時から21日午後
11時58分。(国崎万智)

長崎県島原市出身の油絵
画家で崇城大教授の熊谷有
展さん(50)の個展「熊谷有
展—家族の肖像+α展」が、
熊本市中央区花畑町の崇城
大ギャラリーで開かれてい
る。母子や子どもたちの日
常を描いた油絵、熊本地震
からの復興を祈願した作品
など約30点が並ぶ。
幼いわが子を抱き上げる